

授業科目名	アートキャリア英語	担当教員 小林 瑠音			
必修の区分	選択				
単位数	2 単位				
授業の方法	講義				
開講年次	3年 第1クオーター				
講義内容	<p>アートマネジメントの現場で必要とされる基本的な英語のボキャブラリーとその使い方を学ぶ。</p> <p>前半では、リーディングとライティングを中心に、一般的なビジネス・マネジメント領域で必要とされる英語の応用力を養成する。まずは、劇場、美術館そしてフェスティバルの現場で頻出の役職名や機材名、財務用語などを習得する。リーディングでは、実際の契約書や請求書等のサンプルとともに、ビジネス英語特有の表現や語彙を学ぶ。ライティングでは、ビジネスレター、電子メール、プレスリリース等で用いられる文体や形式などの基礎知識を養う。</p> <p>後半には、いくつかの映像作品（英語字幕）を教材として、作品批評（英文）や翻訳のための、多様なボキャブラリーや構文を学ぶ。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメントの現場で必要な基本的な専門用語（役職名、機材名、財務用語等）を理解することができる。 ・英語の申請書や契約書等を読んで内容を理解することができる。 ・基本的なビジネスレターや電子メール、プレスリリース等を作成することができる。 ・作品を批評（英文）、翻訳するための多様なボキャブラリーや構文を身につける。 ・作品に対する自分の意見を英語で簡潔に表現することができる。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. ボキャブラリー：役職名、組織名、機材、財務用語等 3. リーディング：契約書、申請書、パンフレット、アニユアルレポート等 4. ライティング：ビジネスレター、メール、プレスリリース、報告書等 5. 作品批評（英文） 1：批評のための基本フレーズと3ステップ 6. 作品批評（英文） 2 7. 作品批評（英文） 3 8. 作品批評（英文） 4 9. 翻訳（和訳） 1 10. 翻訳（和訳） 2 11. 翻訳（和訳） 3 12. 翻訳（和訳） 4 				

事前・事後学習	各回の授業内で適宜指示する。
テキスト	各回の授業内で資料を配布する。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤実、宮本由紀 (2018) 『英語でアート』 マール社 ・BNN 編集部・編 (2019) 『クリエイターのためのやさしい英語 and 英文パターン 1500』 ビー・エヌ・エヌ新社 ・ジョン・モーリー (高橋さきの訳) (2022) 『アカデミック・フレーズ・バンク』 講談社 ・北村紗衣 (2023) 『英語の路地裏：オアシスからクイーン、シェイクスピアまで歩く』 アルク
成績評価の基準	授業内の発言 (25%)、各回小レポート (75%)
履修上の注意 履修要件	特になし
実践的教育	該当しない。
備考欄	定員 50 名を超えた場合は、抽選を実施する。